

# サービスオペレータへ転進したYOZAN モバイルインターネットサービスの創出へ

次世代移動体通信デバイスメーカーとして高い実績を持つYOZANが、更なる飛躍を遂げている。昨年末にマジックメール社(旧、東京ウェブリンク)をグループの傘下に加え、280MHz帯の電波を用い無線通信サービスを提供する一方、本年はブロードバンド市場にも本格進出を果たす。YOZANは電波利用を含めた、ユーザーの多様な要望に、素早く対応する新しい電話会社「サービスオペレータ」となり、さらに大きな規模で総合モバイルインターネットサービスの創出に挑戦している。

## ユーザー本位の モバイルインターネットサービス

YOZANはプレゼンテーションブースにて、総合モバイルインターネットサービスを開始すると発表した。これは、280MHz帯のマジックメール(いわゆるページャー)やケータイ(PHS含む)、無線LAN、ADSLなどの各種ネットワークを組み合わせて提供するサービスだ。

「データ通信だけでなく、IP電話を使った音声サービスも提供していく」(執行役員森本守氏)。さらに森本氏は、「ケータイ(PHS含む)、インターネット、IP電話がモバイルで使えるようになる」と説明する。通信の主役はIEEE802.11bを使った無線LAN。それをケータイが補完するという位置づけだ。



移動中はケータイインフラを使った32Kbps(Magic Mobile)、街角では無線LANを使い2Mbps(Bit Stand)、屋内ではADSLを利用して8Mbps(Web Distributor+Embedded Phone)と柔軟に活用できる。

また、大きな役割を果たすのがページャーのネットワーク。同社のIP電話に電話をかける際には、ページャーの「020」の番号が利用され、呼び出しにもポケットベルの280MHzの電波が使われる。その後、無線LANやケータイなどその場に応じたネットワークに切り替わる。

「YOZANは次世代携帯電話の創出を夢見てそれらをキーデバイス供給の立場から、推進して参りました。いつでも、どこでも高速なデータ通信が行える、次世代携帯電話の出現によって

あたかも空間に穴が開いたような楽しいサービスが誕生し私たちの未来を面白くすると考えたからです。しかし、キーデバイス開発が進むにつれYOZANの夢見た次世代携帯電話と現実に創られていくものとの違いに心の葛藤がありました。そして、ある頃からYOZANの思うがままの早くて安



くて品質の良い独創的な携帯電話、すなわち、モバイルインターネットフォンを創りたいと思い始めました。この思いが嵩じ、このたびYOZANは自らがオペレータ、すなわち、電話会社となることを決意しました。YOZANの理想とするオペレータ(電話会社)は、ユーザーの要望にきめ細かく対応する、優しく、親切なサービスオペレータです。YOZANは電波利用を含めたユーザーの多様な要望に、どんどん素早く対応する、新しい電話会社サービスオペレータとなり、さらに大きな規模で次世代携帯電話の創出に挑戦していきます。」(代表取締役社長の高取直氏の社員向け事業方針からの引用)

このように、総合モバイルインターネットサービスは、「ユーザー本位の革新的なサービス」として、「IP.net

JAPAN 2002ブロードバンド・ソリューション展」でも来場者から高い関心を集めた。

## 緊急連絡に効果を発揮 注目集めるマジックメール

2001年12月4日、YOZANグループに第一種電気通信事業者のマジックメール社(旧東京ウェブリンク)が加わった。マジックメール社は280MHz帯域の電波を使った「マジックメール」を提供している。280MHz帯域の電波は、1つの基地局で半径数十km以上をカバーし、さらに障害物を迂回して到達する曲進性に優れているといった特徴がある。そのためユーザーは、ビル内や地下街、トンネル内でも、安定してサービスを受けられるといった特性がある。この特性を利用したマジックメールは、現在、医師や消防関係者といった緊急連絡を日常的に必要とする約16万人のユーザーに普及している。

マジックメール社では200万ユーザーに対応可能な通信施設を保有しており、YOZANグループとしてはこの資産を有効に活かした新たな通信サービスの普及に乗り出す意向だ。

その第1弾として動き始めているのが、地方公共団体などに向けた「緊急災害時用の国民的防災連絡網」である。280MHz帯域の電波は、地震や広域災害時でもいくつかの基地局さえ維持できれば、個人あてメールの伝送ラインを確保できる強みがあるからだ。

非常時・災害時に強いマジックメールの無線インフラと、高齢者や主婦・子供でも使いやすい簡便な表示機器を用いて、地域に密着した情報配信サー

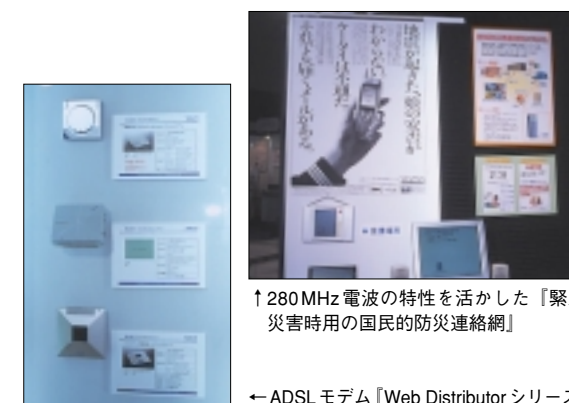
ビスも提供していく。すでに一部の自治体でビジネスが進行しており、2002年度には開始される見通しだ。YOZANではこの成功事例をもとに、全国自治体へ水平展開していく考えだ。

## コンシューマー市場へ参入 高性能なADSLモデムを供給

YOZANは昨年、USBタイプのADSLモデム「Web Distributor I」(現在、ADSL事業者、アッカ・ネットワークスの推奨モデムにも選定されている)発売を機にコンシューマー向けビジネスへ進出したが、本年はこれを一層強化していく。2002年6月には、セキュア機能を搭載したルータタイプ「Web Distributor MAX」を、8月には、無線LANアクセスポイント内蔵の「Web Distributor II」を相次いでリリースする計画だ。

ADSLモデム発売の狙いと意義を、執行役員松本幸治氏は次のように説明する。

「ADSLモデムに注目したのは、やはりブロードバンド市場の中でADSLサービスの伸びが際立っていたからです。当然、競争相手も多く、お客様には選択肢が広がり性能面や価格面でさまざまなメリットが出てくるはず。当社はこれまで、先端技術の開発を主体に行っていたので、今までは技術だけに目を向ければよかったのですが、今後はエンドユーザーの皆様にも目を向けて、積極的なコンシューマビジネスを展開していきます。その意味で社内



↑ 280MHz電波の特性を活かした「緊急災害時用の国民的防災連絡網」

← ADSLモデム「Web Distributorシリーズ」

意識改革が重要になってきますが、もともと当社にはさまざまな経験を持っている人材が集まっており、新規事業に対し積極的に取り組む気運があると自信を持っています」

また、Web Distributorシリーズは、単にADSLモデムに留まる製品ではない。近い将来、家庭内・オフィス内の情報ゲートウエイとして発展させていく計画だ。松本氏は、「家庭内ブロードバンド環境の実現を目標としています。ADSLモデムは電話回線とパソコンの間を繋ぐわけですが、そこにハードディスクを搭載しいわゆる個人サーバー的な役割を持たせたいと考えています。これにより、Webブラウザを搭載したネットワーク機器であれば、あらゆる製品にWeb Distributorを接続して利用できるため、その応用範囲は無限に広がっていくでしょう」と展望する。

### お問い合わせ先

株式会社鷹山

TEL : 03-3469-4312 FAX : 03-3469-4314  
E-mail : staff@yozan.co.jp  
URL : http://www.yozan.co.jp/